Sarva-mangala-mangalye ③

シュリシュティ－　スティティ－　ヴィナーシャーナーム　シャクティ－ブーテー　シャーナータニー

Srishti-sthiti-vinashanam shakti-bhute sanatani;

現す　　　　維持　　　　　　　破壊　　　　　　　力　　　　母なる神様　　　　永遠

グナーシュラエー　　　　　　グナーマーイ　　　ナーラーヤニ　 　ナモーストゥ　テー

Gunashraye gunamaye Narayani namostu te.

３つのグナが入っているもの　３つのグナの化身　　宇宙の母なる女神　 敬礼します

シャラナーガーター　　　ディーナルター　パリートゥラーナ　　パラーヤネー

Sharanagata dinarta paritrana parayane;

避難する　 　　低い身分や困った人　　救う　　　いつもそうして（助けて）ください

サールヴァシャールティ－　　ハレ　　デーヴィ　　ナーラヤニ　　ナモーストゥ　テー

Saravasyarti-hare devi Narayani namostu te.

全ての困難を取り除く　　　人　　　女神　　宇宙の母なる女神　 敬礼します

ジャヤ　　　ナーラーヤニ　　　ナモストゥ　テー

Jaya Narayani namostu te (×４回)

万歳！（栄光あれ）宇宙の母なる女神　 敬礼します

**＜賛歌集の訳＞**

おお、永遠なるものよ！あなたは世界を創造し、保ち、破壊する力です。

あなたの上にこの物質の世界はいこい、その世界はあなたから構成されています。

そのあなたに、おお、ナーラーヤニよ、礼拝いたします

おお、弱い者、苦しむ者を守るものとして知られている、神なる母よ！

おお、全ての悲惨をしりぞけられるお方よ！

そのあなたに、おお、ナーラーヤニよ、礼拝いたします。

**＜語句解説＞**

◆Srishti：「創造」と訳すことが多いですが、現す・投影する（Projection）がふさわしい表現です。

この宇宙は神様が創造（そうぞう）しました。

「そうぞう」には発音が同じ２つの意味があります。

①想像…考えるImagination

②創造…創るCreation

創造（Creation）は、「（以前）ないものを新しく創る」というイメージです。

例えば、この机は（講話の机を指して）最初はありませんでしたが、木材があり、大工さんが作って

出来上がりました。このように、創造には「材料と作り手」が必要です。

しかし「宇宙の創造」の場合、もともと中にあったものを外に出した、中から現れたものなので「創造」とは少し違います。

**蜘蛛と鳥の例**

蜘蛛：自分の体の中から糸を出して巣を作ります。（非二元論的）

烏：外にある小枝などを集めて巣を作ります。（二元論的）

この2つは、全く違います。

蜘蛛と同じ様に、ブラフマンは、（宇宙を）中から現しました。非二元論的です。

二元論的考えは、ブラフマンと宇宙は別々というものです。ですから二元論的哲学者は、宇宙と

神様は別なもので、両方が「永遠」だと思っています。

しかし、「永遠」は１つであって、２つの永遠などはありません。「無限」も２つはありません。

永遠と無限は両方とも１つの、いいえ、１つとも数えられない存在です。

そして非二元論的哲学者は、宇宙はブラフマンの中にあると考えています。

初めはブラフマン１つの存在で、その後ブラフマンの中から宇宙が現れ、そしてまた

宇宙はブラフマンの中に戻って再び１つになるということです。

**水蒸気の例**

夏になると、海から水蒸気が発生して雲になり、それが雨となって降ります。

雨は山から流れ、川に入り、それから海に入ります。海から出て、また海に入っています。

それをイメージして下さい。最初は海、そして川になり、また海と再び１つになります。

そのサイクルと宇宙のサイクルは同じです。最初、宇宙はブラフマンと１つでした。

後になってブラフマンから宇宙は現れました。現れたために別々に見えますが、破壊の時には

再び１つになります。

何もないところから新しい物を創る…これは聖書の理論です。聖書の天地創造は、最初は何もなかったところから、神様がこの宇宙を創りました。

しかし、何もないと創造は出来ません。

**質量保存の法則**

保存されている塊はいつも同じ質量です。物は増やすことも減らすことも出来ません。

科学の１つの考えでは、保存される塊の総質量は同じで、エネルギーが時々大きくなり、形だけが変化するだけで、突然新しい物は出来ないのです。

つまり「[化学反応](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8C%96%E5%AD%A6%E5%8F%8D%E5%BF%9C)の前と後で、物質の総質量は変化しない」

これは「質量保存の法則（Law of conservation of mass）」と言います。

減らすことも、新しく創ることも出来ず、形だけが変化しているという考えです。

非二元論的哲学者の考えも同じで「ずっと同じものが永遠に存在し、形だけが変わっています。」

では、どのように形・状態が変わるのでしょうか。

**①相対的な見方**：（普通の見方）ブラフマンから出て宇宙を現し、続いていき、ブラフマンに戻る

しかし全ては最初、ブラフマンだけでした。

⇒ブラフマンからいろいろ現れました（**創造**）

　　　⇒現れて存在が続いています（**維持**）

　　　⇒ブラフマンに戻り、再び１つになりました（**破壊**）

**②絶対的な見方**：宇宙はブラフマンから現れてもいない、続いてもいない。

ブラフマンに戻ってもいない。全ては幻。

⇒非二元論的哲学者の考え方

どうして宇宙が、創造・維持・破壊しているように見えるのか、それは我々に無知があるからです。

無知がなくなると、別々に見えなくなり、１つのものだけになります。

**指の例**

（マハーラージは人差し指を立てて）この指は何本ありますか？―１つです。

　 　（マハーラージ、指をクルクルと回す）こうすると何本に見えますか？（回すと指が沢山に見える）

指が１本だと非二元論的。指を回すと複数に見えるので二元論的。

非二元論では、「１つ」とは言いません。なぜなら「１つ」と言うと必ず２つ目があるからです。

１つがなければ２つもありません。「絶対」に入ると、「非二元」とは言いません。

ですから一元論（Monism）とは言わないで、非二元論と表現しています。

相対的見方：いろいろなものが別々に見える。

絶対的見方：１つも見えない。これがサマーディの状態です。

皆さんにはサマーディの経験があります。目覚めた状態で夢を沢山見ています。眠っている時も

夢を見ます。しかし深い睡眠の時は全部なくなります。これが無意識でのサマーディです。

意識を持って同じ状態に入るとサマーディとなります。

また、創造・維持・破壊には、エネルギーが必要です。

**シャクティの例**

ゴミになったプラスティックや缶をリサイクルし、何か別なものを作ることがあります。

その時、ゴミを入れたボイラーの火を燃やすためのエネルギーが必要です。

これはどなたの力でしょうか？母なる神様の力で、これがシャクティShakti（力）です。

◆Bhute：母なる神。母なる神の姿には２つあります。

　①相対的な姿　⇔　絶対的な姿

　②形があるか ⇔ 形がないか

この賛歌のShakti-buteは①の「形を持つ母なる神様」を歌っています。

◆Sanatani：シャナータニ（永遠）は、Sanatanaの女性名詞でSanataniになります。

マザー・ドゥルガーの賛歌ですから語尾が「ni」になります。

シヴァについてなら男性名詞で「na」になります。

◆Gunashraye：３つのグナ、サットワ・ラジャス・タマスを置く場所。入れ物。受容するもの。

３つのグナは、マザー・カーリーの中に存在しています。（☞※1を参照）

Gunamayeは、マザー・カーリーはサットワ・グナの化身という意味。

マザー・カーリーの中にも３つのグナがあり、グナの中にもマザー・カーリーがいます。

**空間の例**：スペース（空間）の中に物がありますが、物の中にもスペースがあります。

**スポンジの例**：水がめの中にスポンジがあるとします。水がめの中には水が入っていますが、

スポンジの中にも水が含まれています。スポンジの外にも中にも同じ水があります。

このように、３つのグナでマザー・カーリーは創られていますが、そのグナの中にもマザー・カーリー

は、グナの形をとって存在しているのです。

◆Narayani namostu te：女神様（宇宙の母なる神様）、あなたに敬礼いたします。

（第２回の勉強会参照）

◆Sharanagata：Take refuge in youまたは Take shelter in youです。

「神様、私はあなたに避難します」の意味。困った人は、他の人に助けを求めることがあります。

しかし信者は神様に避難します。

我々は、ホーリー・マザーに避難します。

◆dinarta：dina（社会的地位が低い）+arta（困った人、お金、病気、心や色々な問題がある人）

賛歌「Om Hrim ritan」の中に、「dina-bandho」がありますが、それと同じ意味で、

「神様はその困った人たちの友達です」の意味。

◆paritrana：Help（助ける）ではなく、Save（救う）、問題から「救済する」という意味。

「困っている私を救って下さい。悪人から私を守って下さい。（Please save me.）」

「私はあなたに避難しましたから、どうぞ私を救って下さい。」と信者はマザーに祈ります。

◆parayane：「いつもそうして下さい。私を救ってください。」という意味。

人間は、時々親切で時々親切ではありません。しかし神様はどんな時でも、いつも私たちを救ってくれます。

◆Sarvasyrti：Sarvasya（全ての人）＋arti（困難や危険を取り除く）

◆hare：人

◆devi：女神

◆Narayani namostu te：あなたに敬礼いたします。

このように、信者はいつも神様に祈っています。信者にも色々なレベルがあります。

**①レベルの高い信者**：神様は（私たちが何を欲しているのか）全てをわかっていらっしゃるから、

私たちは特別祈る必要はないと考えています。

**赤ちゃんの例**：お母さんはいつも赤ちゃんのことをチェックしていますから、赤ちゃんが

何も言わなくても、お母さんは赤ちゃんが何をしてほしいのかわかります。

このように母なる神様も、言わなくても私たちの心のことを全部知っています。

**ガラス戸棚の例**：ガラスの戸棚は、外から中のお皿やコップなどが見えます。

だから、お客様は棚の中を説明されなくてもわかります。

そのように、マザー・カーリーは全てをわかっていると本当に信じている信者は祈りません。

マザー・カーリーは普通のお母さんではありませんから。

**②普通の信者**：普通の人は言葉を話せるようになったら、自分の問題を口でお母さんに言います。

「Sarva-mangala-mangalye」は、

①この賛歌は、このように祈る普通の信者のために作られました。また、

②マザー・カーリーを喜ばせるための賛歌でもあります。

ですからマザー・カーリーの特徴、性格、良い性質も表しています。

☞※1：前回までこの賛歌は、「マザー・ドゥルガーの賛歌」としてマハーラージは説明されていまし

たが、今回の解説では「マザー・カーリーの賛歌」と話されています。

　　　この理由について：本来、これは「チャンディ」の一部分、マザー・ドゥルガーの賛歌です。

　　　しかしマザー・ドゥルガーもマザー・カーリーも母なる女神で、形は違いますが同じ存在です。

また、ラーマクリシュナミッションの信者やお坊さんは、この賛歌を歌うの時には、マザー・ドゥルガーやマザー・カーリーのイメージではなく、ホーリー・マザーをイメージしています。

ホーリー・マザーもまた母なる神様、マザー・ドゥルガーやマザー・カーリーの化身でもあるからです。